

第 43 回国民文化祭、第 28 回全国障害者芸術・文化祭
愛媛県実行委員会の設立趣旨

国民文化祭は、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策と有機的に連携しつつ、地域の文化資源等の特色を生かした文化の祭典です。

また、伝統芸能や文学、音楽、美術などの各種芸術、食文化などの生活文化等の活動を全国規模で発表、共演、交流する場であり、昭和 61 年から開催されてきました。

全国障害者芸術・文化祭は、障がい者の芸術文化活動への参加を通じて、障がい者の生活を豊かにするとともに、国民の障がいへの理解と認識を深め、障がい者の自立と社会参加の促進に寄与するため、平成 13 年から開催され、平成 29 年からは国民文化祭と一体的に開催されています。

令和 10 年に本県で開催する国民文化祭及び全国障害者芸術・文化祭では、文化芸術に関わった一人ひとりの「^{えがお}愛顔」が新たな「^{えがお}愛顔」を育み、その輪が大きく力強く広がっていき、文化芸術が持つ「共に創り・共に生きる」力を活用した未来の新たな社会を愛媛から創りだす起点となることを目指します。

また、愛媛の風土と人々の営みが織り上げた豊かな地域資源の魅力を発信するとともに、遍路文化で培われた「お接待の心」で国内外の来訪者をお迎えし、交流人口の拡大と地域活力の増進を図ります。

文化祭の成功に向けて、オール愛媛で開催準備や事業運営等を行うため、県、市町、関係機関及び関係団体で組織する「第 43 回国民文化祭、第 28 回全国障害者芸術・文化祭愛媛県実行委員会」を設立します。